

## ベムペド酸で日本人高 LDL コレステロール (LDL-C) 血症患者の LDL-C が 25% 低下

日本人高 LDL コレステロール (LDL-C) 血症患者を対象にベムペド酸の有効性と安全性を検討した CLEAR-J 試験の結果が発表され、12 週後の LDL-C のベースラインからの変化率は、ベムペド酸群が  $-25.25\%$ 、プラセボ群が  $-3.46\%$  であり、有意な群間差 ( $-21.78\%$  ポイント) を認めました。

ベムペド酸は、コレステロールの生合成系において、スタチンの作用点である HMG-CoA 還元酵素よりもさらに上流に位置する ATP クエン酸リアーゼの活性を阻害し、LDL-C の低下作用を発揮します。

2023 年に発表された国際共同第 3 相試験 CLEAR Outcomes において、心血管イベントの有意なリスク抑制が示され、米国や欧州では既に承認されています。

従来のスタチン投与下、またはスタチン不耐により十分量のスタチンを投与できず、LDL-C 管理目標値に達していない成人患者により適応となります。